

小山町立するがおやまこども園評価「自己評価書」

1 教育・保育目標

「金太郎のように心豊かでたくましい子」
 かんがえる子 やさしい子 げんきな子

2 重点目標及び具体的方策

重点目標 「みんなでわくわく遊べる子」

具体的方策

- ・乳幼児一人一人が自己発揮できるよう、内面理解と個に応じた援助の工夫や温かいかわりをする。
- ・豊かな体験ができる環境と保育の内容の充実に努め、子どもが経験したことを自分のものにしていく過程を大事に受け止める。
- ・「幼児期の終わりまでに育てたい10の姿」を意識した保育の展開や振り返りの積み重ねをし、発達や学びの連続性を図る。
- ・子ども・保護者・保育者・地域との連携を図り、教育効果を高める。

3 項目別評価

| 評価項目 | 項目別評価 | 評価の理由 | 職員アンケート結果 | 保護者アンケート結果 |
|------------|-------|---|-----------|------------|
| 教育目標・園目標 | A | 園目標や重点目標を踏まえた教育、保育に努めている。 | B | A |
| 教育課程・保育計画 | B | 子どもの自主性や主体性が育めるような保育環境を工夫し、すすめている。 | B | A |
| 保育指導 | B | 子ども一人一人に合わせた援助を工夫し全職員でチーム保育をおこなっている。 | B | A |
| 研修 | B | ほかほかタイムを計画的に取り入れていくことで個の育ちに繋がった。 | B | / |
| 特別支援教育 | B | コーディネーターを中心に園全体で取り組むことで個の育ちに繋がった。 | B | / |
| 安全管理 | B | 常に職員がいる第1園舎は安全管理ができているが、第2園舎は行き届かないこともあるため、より良い方法を考えていきたい。 | B | A |
| 保健管理・食事 | B | アレルギー児への対応が徹底している。健康観察票やコドモンで保護者からの情報を確認し職員間での情報共有をはかる。 | A | B |
| 組織運営・情報管理 | B | 職員間の連携が難しいこともあるが、チームワークを大切に雰囲気の良い職場環境を目指していきたい。 | B | A |
| 保護者・地域との連携 | A | 地域版をとおして地域の方々に園の様子を伝えた。また、コドモンのドキュメンテーションで日々の子どもの姿や成長を伝え保護者と共有することができた。 | A | A |
| 施設・設備 | B | 修繕が必要な箇所もあるが、清潔を保ち園児が安心安全に過ごせるように努めている。 | B | A |

(注) 1 評価表示方法「A：十分達成されている、B：達成されている、C：取り組まれているが、

成果が十分ではない、D：取組が不十分である」

- 2 「職員アンケート結果」は、項目別評価用アンケートを集計したものである。
- 3 「保護者アンケート結果」は、項目別評価用アンケートのうち「わからない」と回答したものを除いて集計したものである。
- 4 「項目別評価」は、「職員による評価」及び「保護者による評価」をもとに、職員で話しあって決定したものである。

4 今後取り組むべき課題

| 課 題 | 具体的な取組み方法 |
|-----------|---|
| 特別支援教育 | 配慮が必要な園児に対してほかほかタイム（ケース会議）を計画的に行っている。情報を共有することで担任1人が抱え込まないようにしていきたい。来年度に向けて情報の伝達も確実にしていきたい。 |
| 教育課程・保育計画 | 保育計画は子どもの実態に合わせて作成しているが、担任外の職員がクラスに入る際に、計画の共有までいかないことがあった。 計画の情報共有を工夫する方法を考えていきたい。 |

5 評価全体を通して（総評）

| 総合評価 | 評価の理由 |
|------|---|
| B | <ul style="list-style-type: none">・小規模園の良さを活かして個の理解を深め、一人一人の育ちに繋げていくことができた。チーム保育を大切にし、家庭的な雰囲気の中で園全体で子ども達を育てていくことができたように感じる。・職員会議を定期的に行い全体に周知し情報を共有していくことで職員が見通しをもつことができた。お互いに声を掛け合ったり職員間で助け合う関係性が見られ、協働性に繋がり良い体制となりつつある。 |